

地域健康かるて 東宇治南包括圏域

【人口】 23,288人【高齢化率】 32.00%（市全体：30.42%）

前期高齢者割合が最も高いエリア

<出典>

- 住民基本台帳（令和7年4月1日現在）
- 住民の健康改善に資するエビデンス創出を目指した多地域コホート研究（LIFE Study）2024年度報告書（令和5年度データ）

【小学校区】 宇治・岡屋

主なエリア

木幡（南山畑・北山畑・大瀬戸・熊小路・内畑・西浦・中村・南端・西中）・五ヶ庄（折坂・芝ノ東・新開・西浦・高峰山・広岡谷・五雲峰・一番割・二番割・三番割・雲雀島・壇ノ東・居場道・古川・尼ヶ谷・高車・寺界道・西川原・西田・谷前・北ノ庄・野添・千入寺・九ツ池・轟・大林・池ノ浦・梅林）・羽戸山



宇治、岡屋の2つの小学校区で構成され、丘陵地の住宅街、駅周辺のマンション群、旧地区に分かれている。
丘陵地は公共交通機関が少ない。

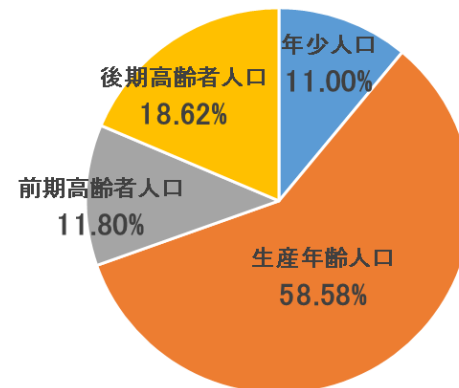
※国民健康保険、後期高齢者医療情報は令和6年9月時点であるため
1人当たり年間医療費、健診受診率等は公表値と異なります

人口

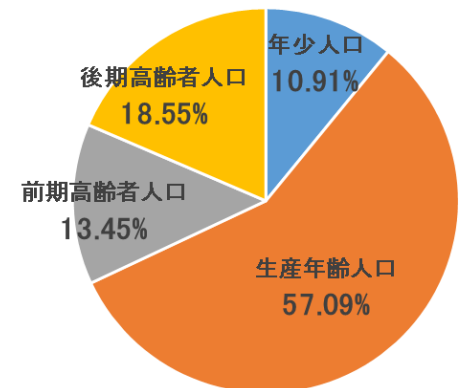
	総人口	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	(再掲)	
					前期高齢者人口 (65~74歳)	後期高齢者人口 (75歳以上)
宇治市	178,893	19,685	104,787	54,421	21,118	33,303
東宇治南 包括圏域	23,288	2,541	13,295	7,452	3,133	4,319

令和7年4月1日時点

人口割合



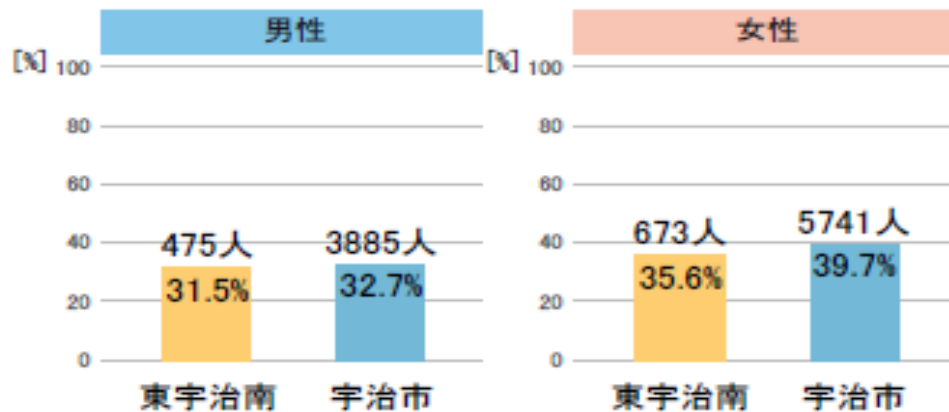
宇治市



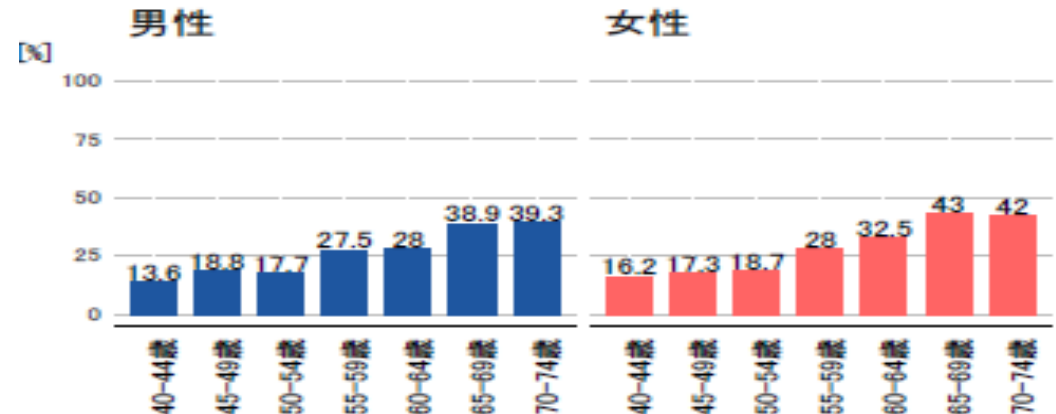
東宇治南包括圏域

国民健康保険 特定健康診査 令和5年度

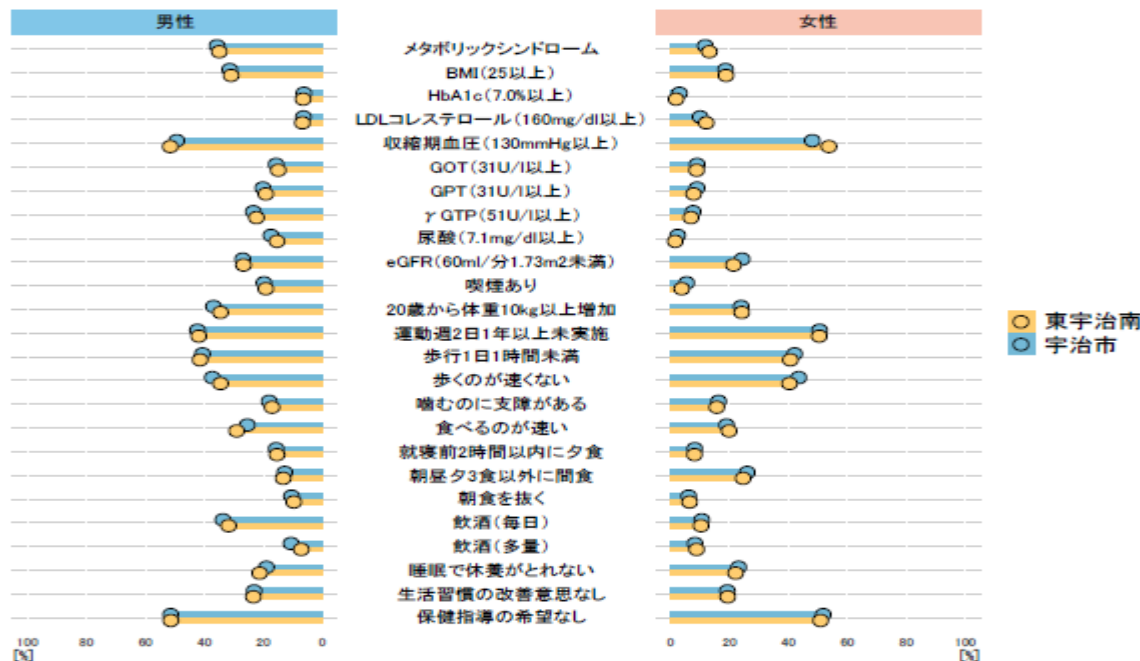
健診受診者数と受診率



年齢別の健診受診率(東宇治南)



健康と生活習慣の状況



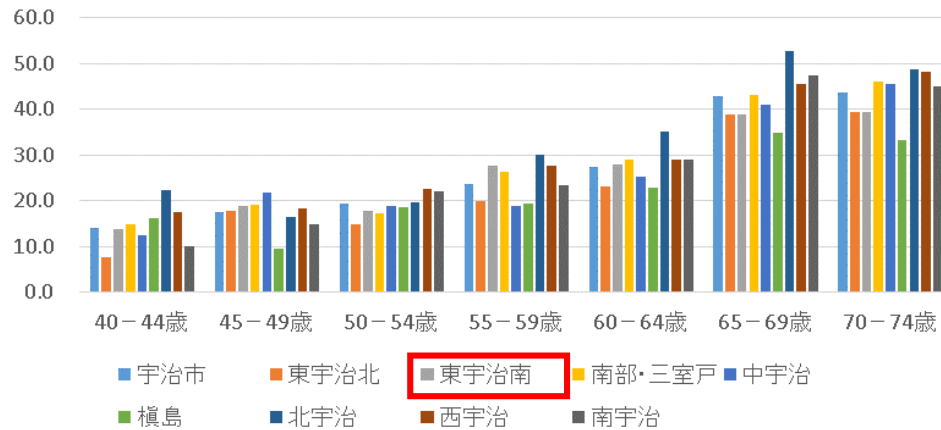
・特定健康診査受診状況は、男女ともに市の平均よりも低い。

・特定健診結果では、男性では『食べるのが速い、睡眠で休養がとれない、収縮期血圧(130mmHg以上)』の割合が市の平均よりも高く、女性では『収縮期血圧(130mmHg以上)、LDLコレステロール(160mg/dl以上)、メタボリックシンドローム』の割合が市の平均よりも高い。

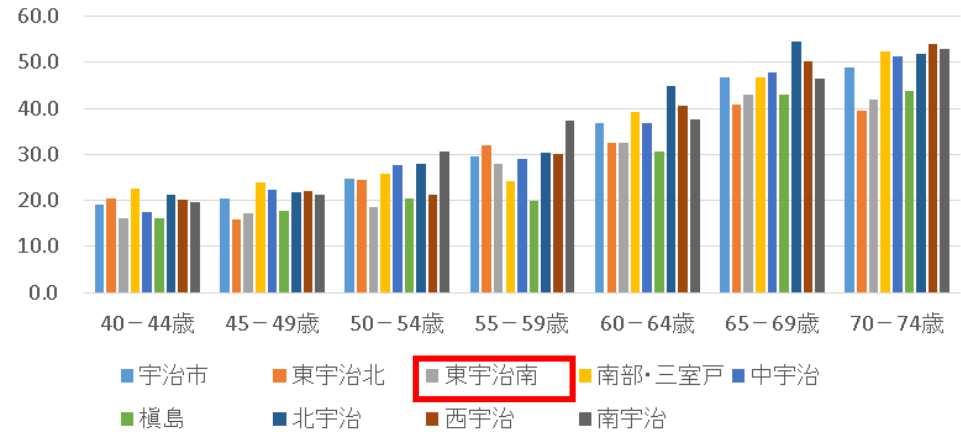
* 健診の標準的な質問票を元に作成しています。

国民健康保険 特定健康診査 令和5年度

特定健診年齢別受診率(男性)
(他の圏域との比較)



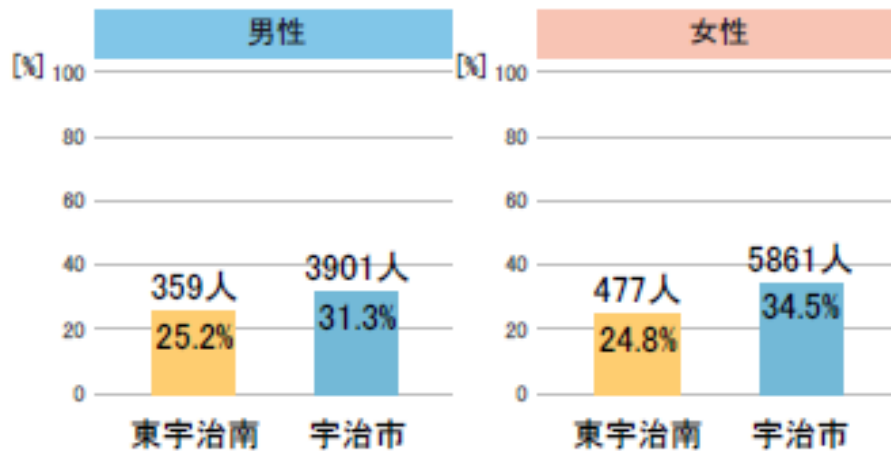
特定健診年齢別受診率(女性)
(他の圏域との比較)



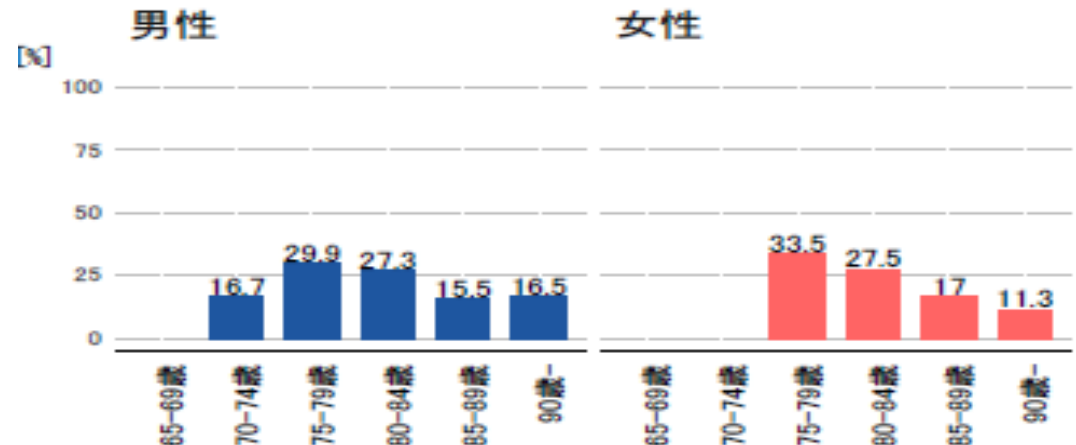
・特定健康診査受診率を年代別に見ると、男性では『45～49歳，55～59歳，60～64歳』で市全体より高くなっているが、その他の年代で低くなっており、女性ではすべての年代で低くなっている。

後期高齢者医療 健康診査 令和5年度

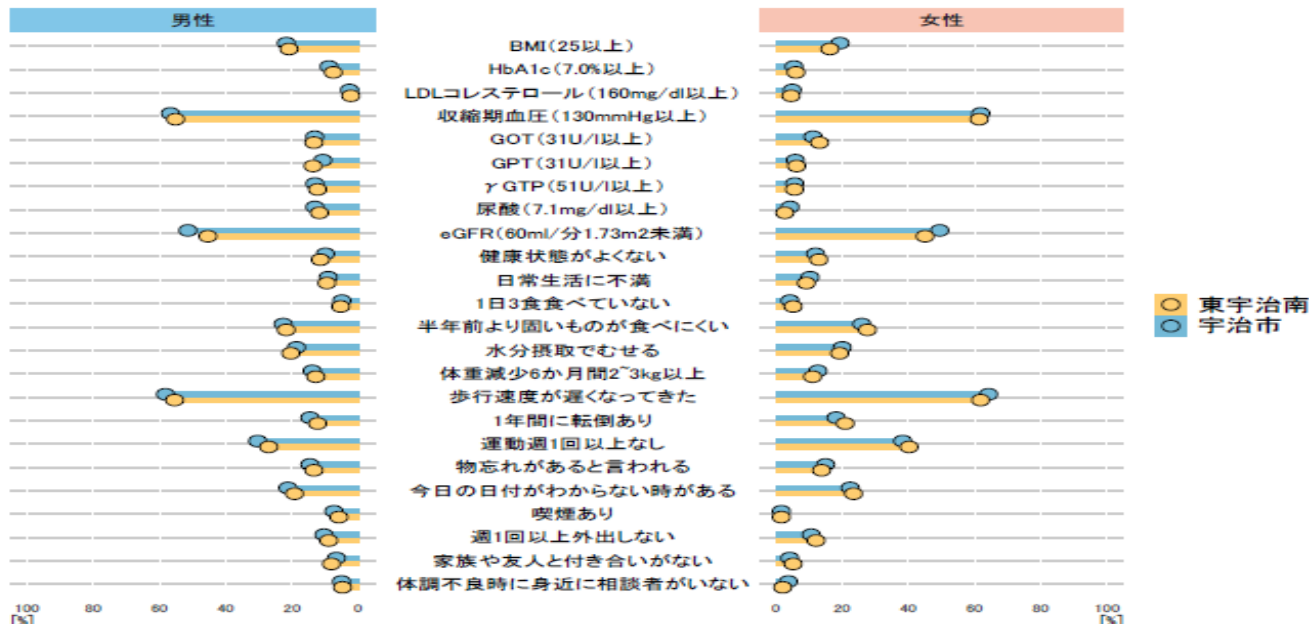
健診受診者数と受診率



年齢別の健診受診率(東宇治南)



健康と生活習慣の状況

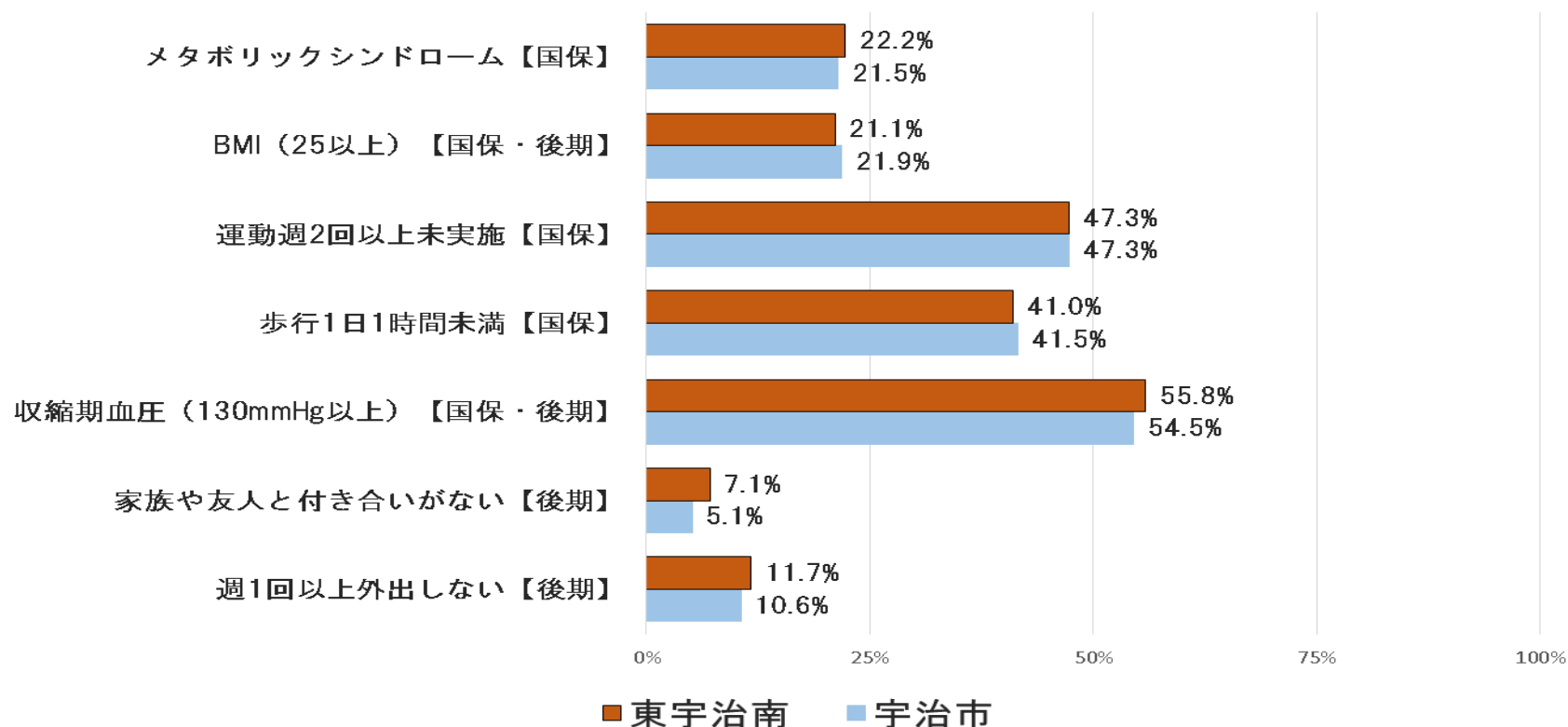


・後期高齢者医療制度健康診査の受診状況は特定健康診査同様、市の平均よりも低い。

・健康診査結果では、男性では『GPT (31U/l 以上), 水分摂取でむせる, 健康状態がよくない』、女性では『1 年間に転倒あり, GOT (31U/l 以上), 運動週1 回以上なし』の割合が市の平均よりも高くなっている。

国民健康保険 特定健康診査/後期高齢者医療 健康診査 令和5年度

健康と生活習慣の状況（年齢調整該当率）

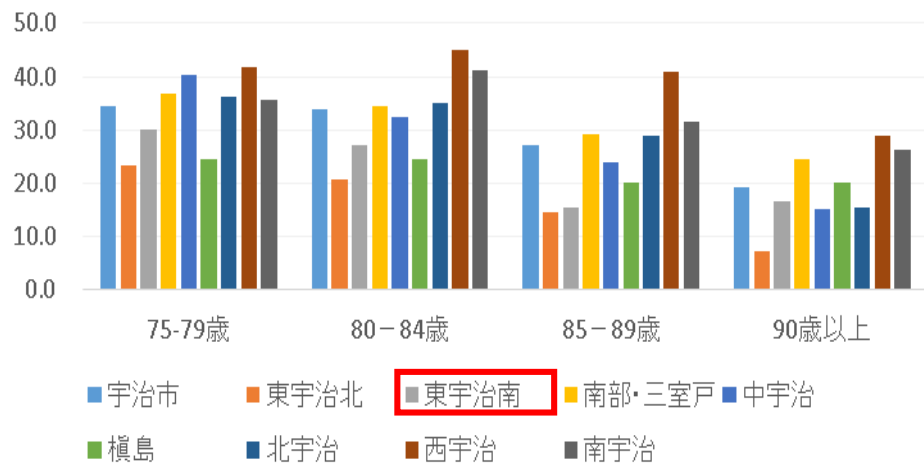


・宇治市全体と比較し『メタボリックシンドローム，収縮期血圧（130mmHg以上），家族や友人と付き合いがない，週1回以上外出しない』の割合が高くなっている。

後期高齢者医療 健康診査 令和5年度

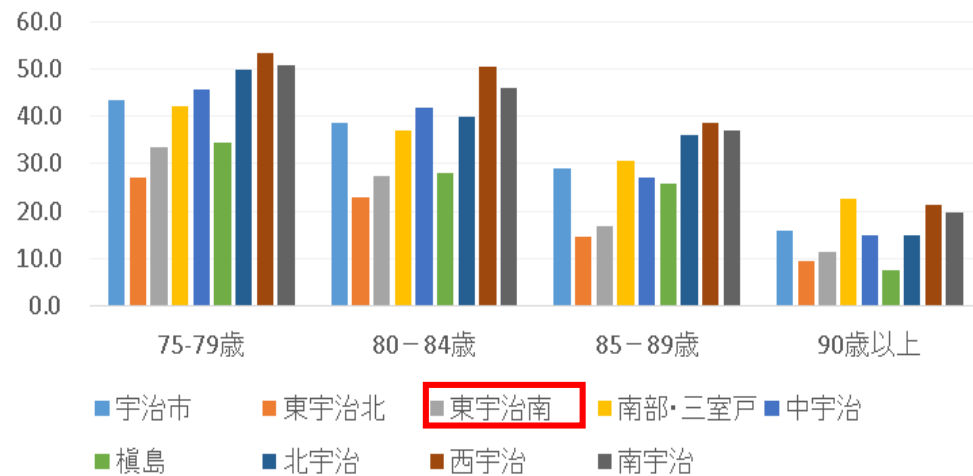
健康診査年齢別受診率(男性)

(他の圏域との比較)



健康診査年齢別受診率(女性)

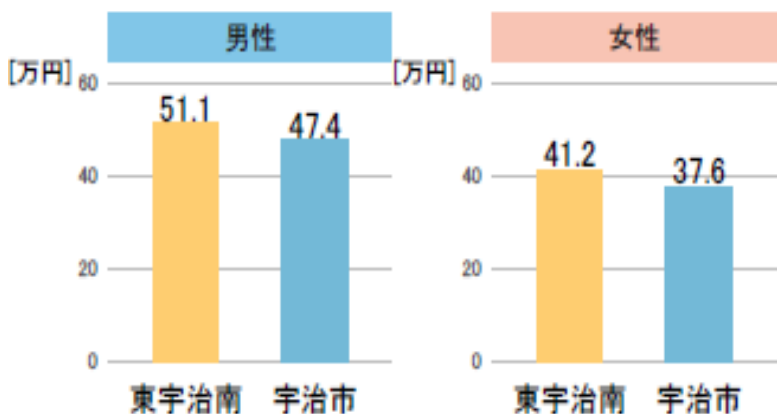
(他の圏域との比較)



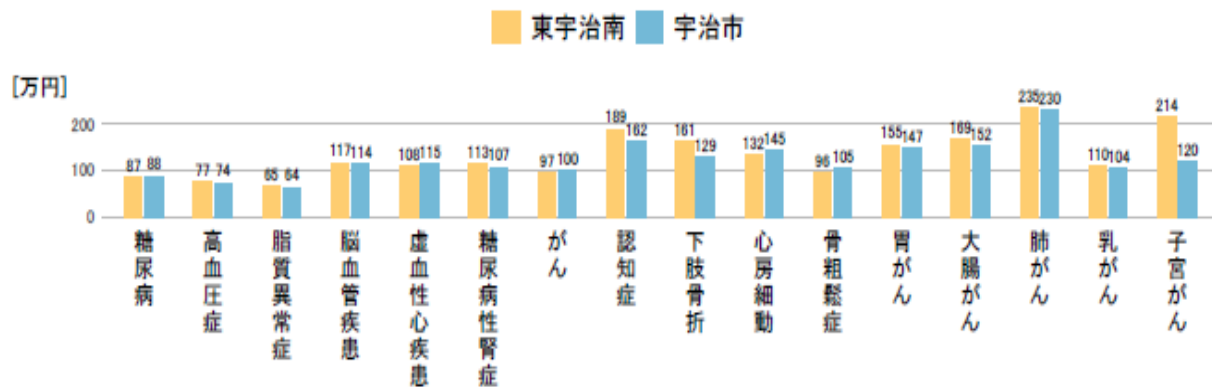
- 健康診査年齢別受診率を年代別に見ると、男女ともにすべての年代で市全体より低くなっている。

国民健康保険 医療費データ 令和5年度

1人当たり年間医療費

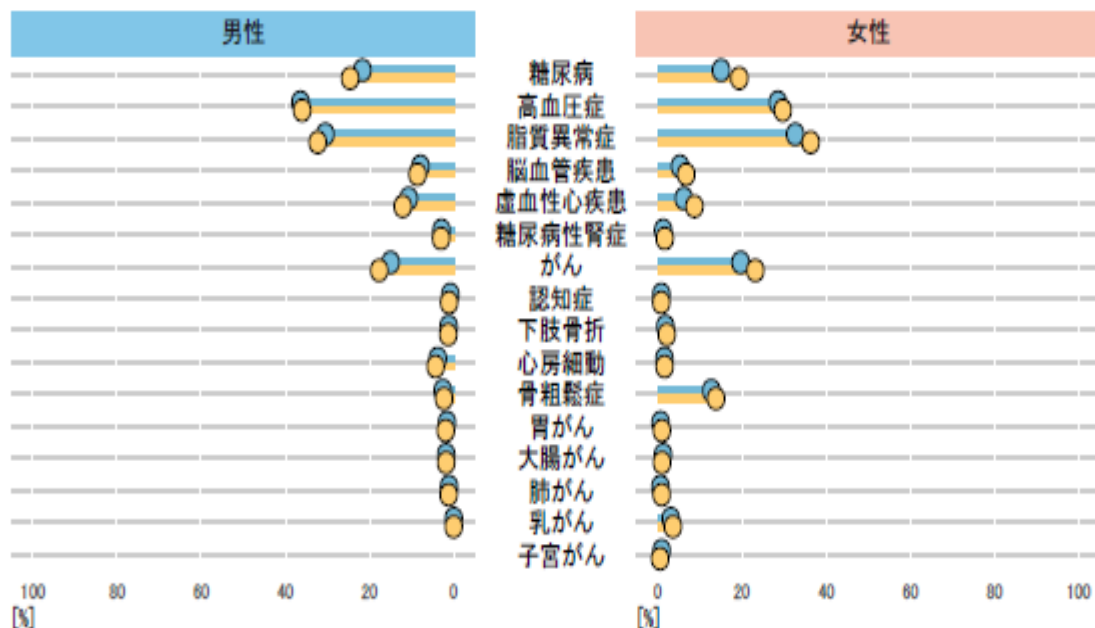


疾患別の1人当たり年間医療費



* 1人で複数の疾患を有していることがあります。

疾患別の有病割合



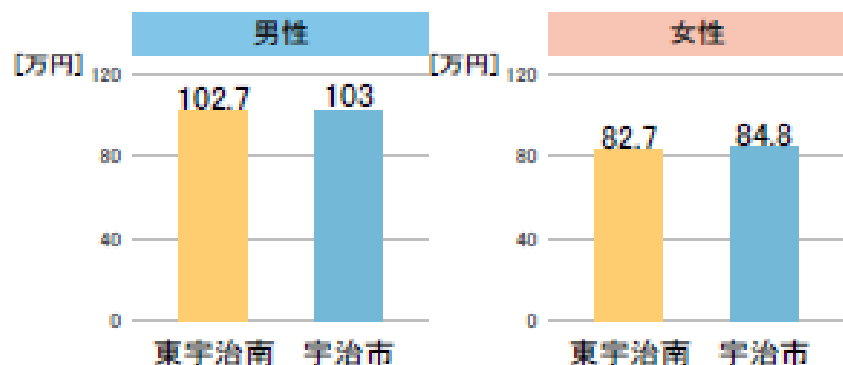
・国民健康保険の加入者の1人当たり年間医療費は、市の平均よりも男女ともに高い状況。

・疾患別の1人当たり年間医療費は『子宮がん, 下肢骨折, 認知症』において市の平均より高い。

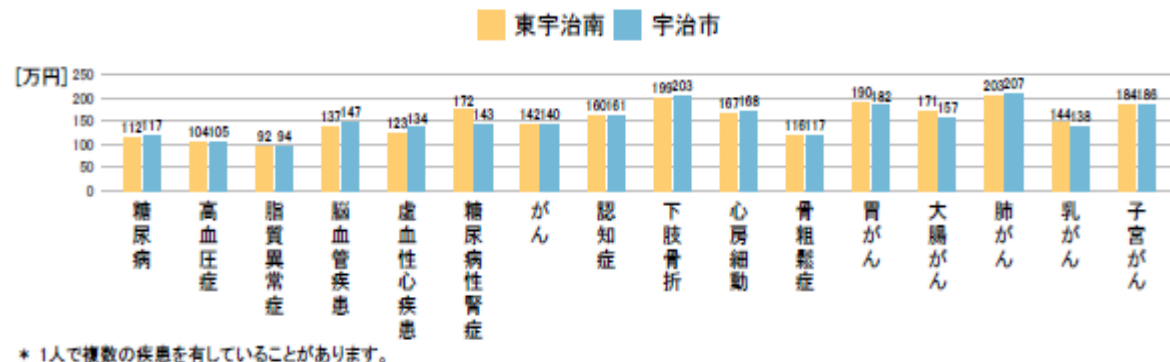
・疾患別の有病割合では、男性では『糖尿病, がん, 脂質異常症』の割合が市の平均より高く、女性では『糖尿病, 脂質異常症, がん』の割合が市の平均より高い状況である。

後期高齢者医療 医療費データ 令和5年度

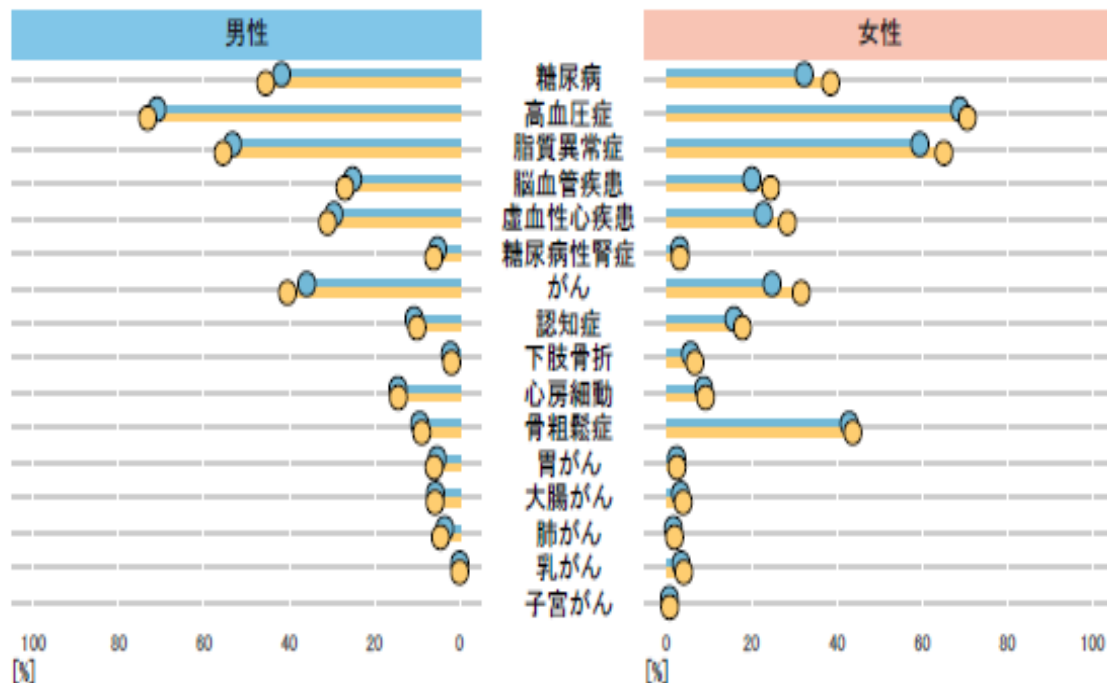
1人当たり年間医療費



疾患別の1人当たり年間医療費



疾患別の有病割合



・後期高齢者医療の1人当たり年間医療費は、男女ともに市の平均よりも低くなっている。

・疾患別の1人当たり年間医療費では、『糖尿病性腎症、大腸がん、胃がん』を患う方の医療費が市の平均を上回る。

・疾患別の有病率は、男性では『がん、糖尿病、高血圧症』において市の平均を上回っており、女性では『がん、糖尿病、脂質異常症』において市の平均を上回っている。